

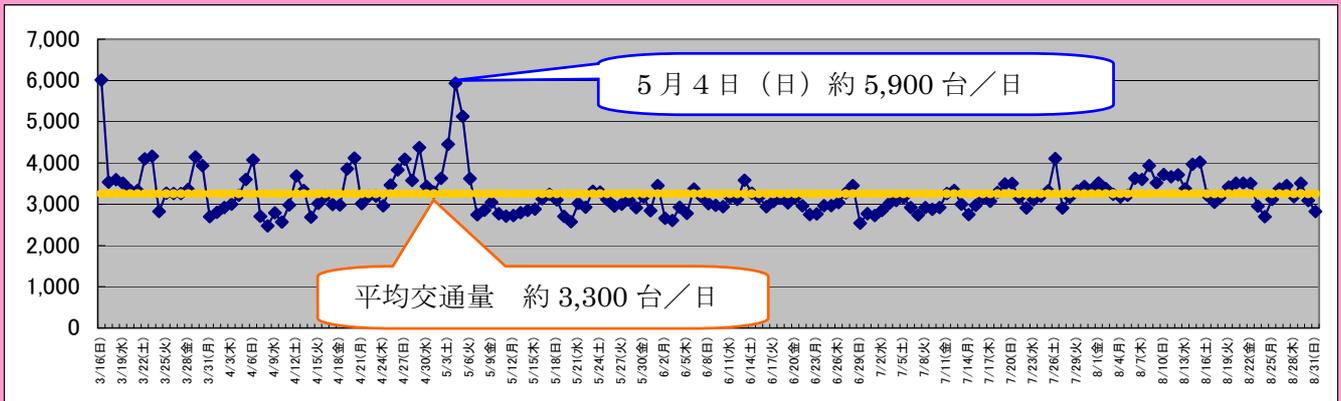
# 北関の利用が増えています！

## ■宇都宮上三川 IC～真岡 IC（栃木県）

### ◎一日平均約3,300台/日、最大約5,900台/日が利用

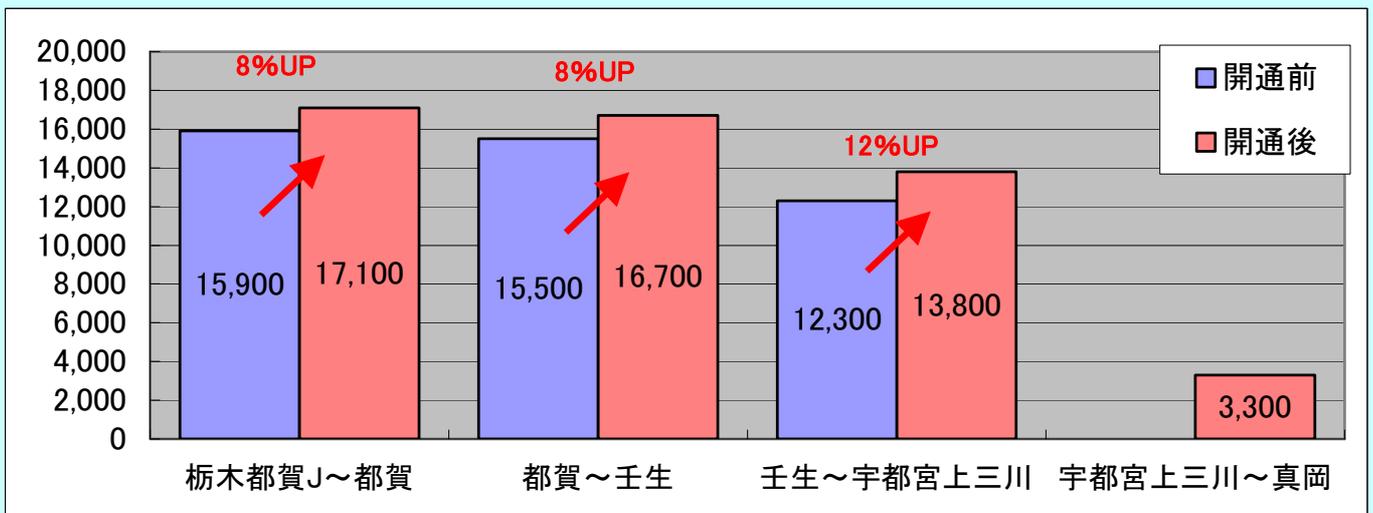
- ・ 開通から8月31日までの期間では、1日当たり約3,300台/日のご利用されました。
- ・ 平日（月～金）では、一日当たり約3,100台/日、休日（土日祝）では、約3,500台/日と平日に比べ約1.1倍の交通量となっています。
- ・ また、この期間内において交通量が最も多かったのは5月4日の約5,900台/日でした。
- ・ 開通に伴い、隣接区間の交通量が約1割増加しています。

### ◆宇都宮上三川 IC～真岡 IC 間 開通後からの交通量の推移



※平均交通量とは開通の翌日から8月31日までの日交通量の平均値

### ◆隣接区間の交通量の変化



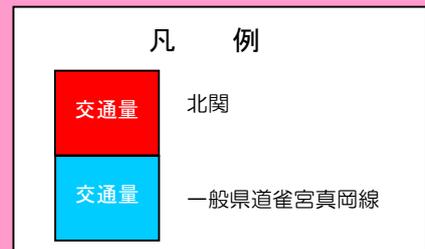
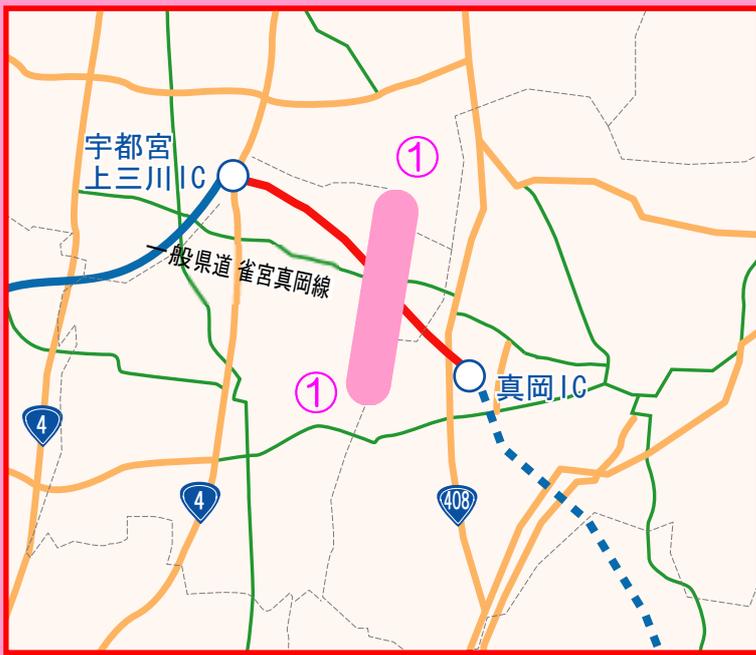
※交通量は、開通前 H19.3.16～H19.8.31、開通後 H20.3.16～H20.8.31 の日交通量の平均値

# 一般道の交通量が減少し、走行しやすくなっています！

■宇都宮上三川IC～真岡IC（栃木県）

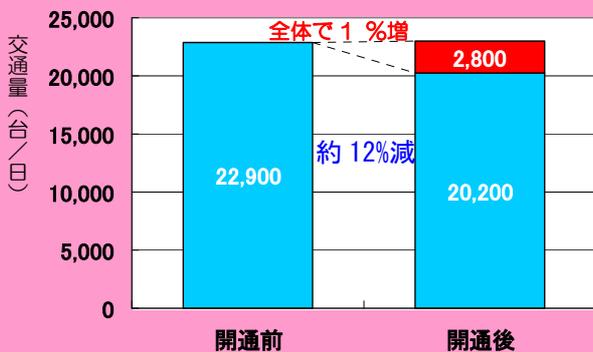
- ・並行する一般県道すずめのみや雀宮真岡線の交通量が、北関へ転換し約1割減少しています。（①-①断面）  
また、一般県道雀宮真岡線の朝夕のピーク時間帯における交通量は、5～12%減少しています。

## ◆断面交通量の変化



## 【①-①断面交通量の変化】

断面交通量の変化



ピーク時間の交通量の変化



・調査期間

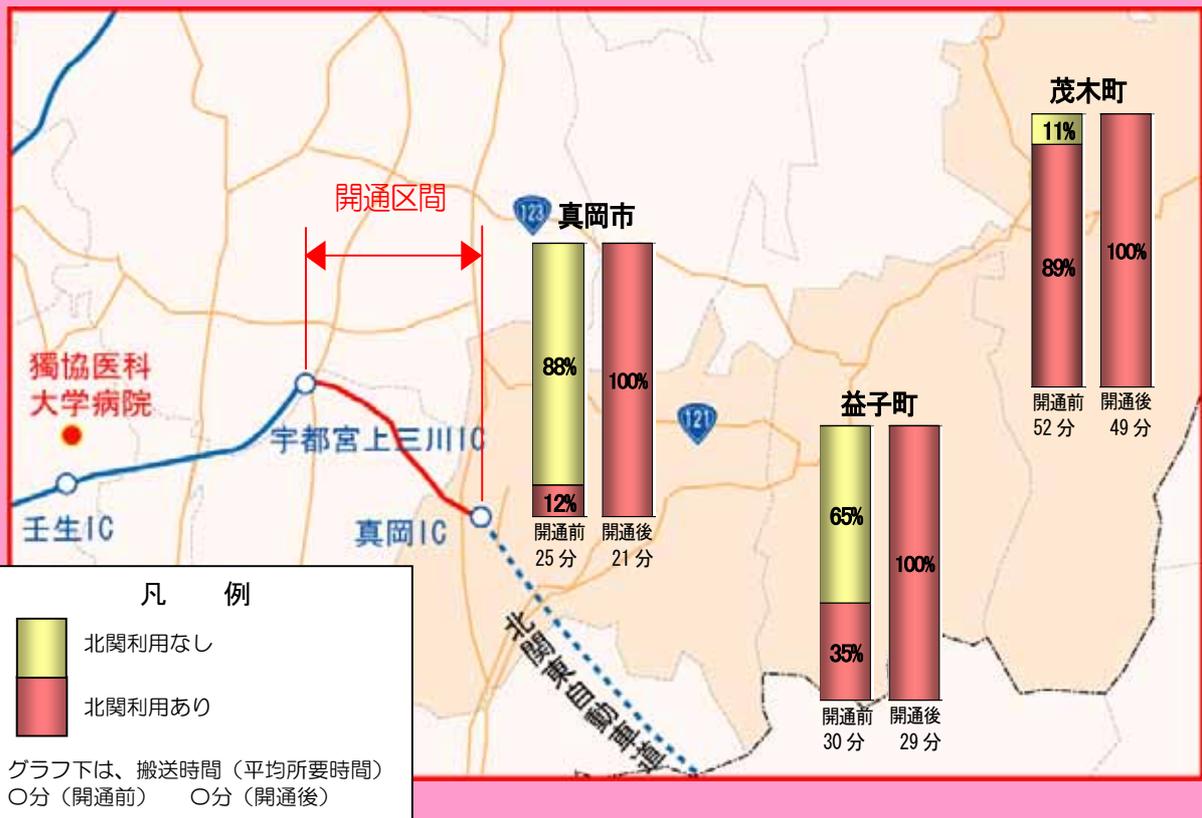
開通前：平成19年12月11日（火）7～翌7時：24時間  
開通後：平成20年5月13日（火）7～翌7時：24時間

開通前：平成19年12月11日（火）  
開通後：平成20年5月13日（火）

## 地域の救急医療に貢献しています。

### ■真岡 IC～宇都宮上三川 IC（栃木県）

- 真岡市・益子町・茂木町から第三次救急医療機関である「獨協医科大学病院」までの救急搬送において、北関を利用する搬送割合が、開通前は全体の約2割（147件中28件）でしたが、開通後は10割（26件中26件）利用されています。（2007年1月～2008年5月の搬送実績）。



#### ※搬送割合の算出方法

真岡市・益子町・茂木町全域の搬送件数の割合

#### ※搬送時間の算出方法：

開通前：北関（宇都宮上三川 IC）を利用して獨協医科大学病院まで搬送した際の平均所要時間  
 （2007年1月1日～2008年3月15日）

開通後：北関（真岡 IC）を利用して獨協医科大学病院まで搬送した際の平均所要時間  
 （2008年3月16日～5月31日）

開通前後の比較のため、同一街区からの搬送実績があるもののみを集計の対象とした。

※第三次医療機関：生命の危機が切迫している重篤患者に対応する、高度な専門医療を行う24時間体制の救命救急センター

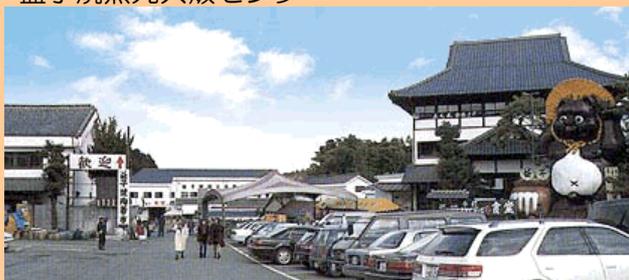
資料提供：芳賀地区広域行政事務組合消防本部

観光活性化に寄与しています。

■宇都宮上三川IC～真岡IC（栃木県）



益子焼窯元共販センター



ゴールデンウィーク中の来場者数は  
昨年の39万人から43万人となり、  
4万人増加しました。

真岡井頭温泉



昨年いがしらの5月と比較して入館者数が、  
31,700人から34,400人となり、  
約3,000人増加しています。

真岡市物産会館



真岡木綿会館



宇都宮上三川ICから真岡ICの開通により、  
真岡市物産会館への観光バスでの来客が増え  
ました。真岡市物産会館では、隣接する真岡  
木綿会館のオープンもあり、昨年よりも売上  
が増加しています。

北関への期待の声が多くの方々から寄せられています。

■宇都宮上三川 IC～真岡 IC（栃木県）

## ◎安全・安心の向上

芳賀地区広域行政事務組合消防本部

第三次医療機関である獨協医科大学は北関の壬生 IC に近いので、真岡 IC から高速道路を利用することにより、搬送時間が短縮された。全通後は茨城県の病院への搬送の選択の可能性が広がり、医療環境が向上する。



## ◎観光振興の拡大



益子焼窯元共販センター

宇都宮や東京からのアクセスが良くなったと、個人客やツアー客からの声を聞いています。特に、GWでは来場者数が昨年の 39 万人から 43 万人となり、4 万人増加しました。

おおさき  
大前神社

宇都宮上三川 IC から真岡 IC の開通により、最寄り IC が近くなり参拝者から便利になったという声が聞かれる。全線開通による茨城県からの来社の増加を期待していますので、一日も早い開通を待ち望んでいます。



大前神社

## ◎産業の活性化

酪農とちぎ農業協同組合（真岡第5工業団地内）

横浜方面からの飼料搬送の際、開通前は宇都宮上三川 IC を利用していたが、真岡 IC まで延伸されたことにより搬送時間が短縮された。また、茨城方面からも搬送しているため、北関全通により更なる効率化を期待している北関東の経済循環路として全線開通に期待しています。



運送会社（真岡第5工業団地内）

真岡 IC に隣接する真岡第5工業団地は、ロジスティクスセンター（配送拠点）として好条件である。今後、桜川筑西 IC まで繋がって全線開通すれば、常陸那珂港までのアクセスが良くなり、さらに便利になる。混雑している東京や神奈川の港を避けてシフトしてくるだろう。